

高等学校 令和8年度

教科 情報

科目 情報の表現と管理

教科： 情報

科目： 情報の表現と管理

単位数： 2 単位

対象学年組： 2 年三修

教科担当者： (清水)

使用教科書： (情報の表現と管理 (実教出版))

教科 情報の

の目標：

【知識及び技能】情報の各分野について体系的・系統的な理解を深めるとともに、関連する技術を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】情報産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、情報産業の創造と発展に主体的かつ協動的に

科目 情報の表現と管理

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報の表現と管理について体系的・系統的に理解するとともに、文書作成、データ処理等の技術を身に付けるようにする。	情報の表現と管理に関する課題を発見し、情報産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	適切な情報の表現と管理を目指して自ら学び、情報産業の維持と発展に必要な情報の表現と管理について主体的かつ共同的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	担当 時数
1 学 期	第1章 情報社会と情報の表現 1節 メディアと情報の表現 【知識及び技能】 コミュニケーション手段の変化について理解を深めるようにする 【思考力、判断力、表現力等】 適切にメディアやコミュニケーション手段を活用する力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 現代のコミュニケーション手段の課題主体的に考える態度を養う	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様化する情報の表現と、それに伴うコミュニケーションの変化を理解する。</li> <li>メディアの種類と特性を理解する。</li> </ul>	<p>【知識・技能】 多様化する情報の表現にともなうコミュニケーションの変化を理解している。 メディアの種類と特性を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 現代のコミュニケーション手段における課題点を考えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現代のコミュニケーション手段の特性を理解し、情報社会に主体的に参画しようとしている。</p>	○	○	○	6
	2節 情報社会における情報の表現 【知識及び技能】 通信機器や映像表現の変化について理解を深めるようにする 【思考力、判断力、表現力等】 適切な通信機器や映像表現を選択し、活用する力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 通信機器の発達による利点と課題を主体的に考える力を養う	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報通信とコンピュータについて大まかに理解する。</li> <li>情報通信端末の種類と役割を大まかに理解する。</li> <li>映像表現の発達を社会にあるものと関連付けて理解する。</li> <li>その他の表現技術の存在を理解する。</li> </ul>	<p>【知識・技能】 通信機器の発達について理解している。 映像表現の発達について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 通信機器や映像表現が発達したことにより、便利になったことと課題について考えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 通信機器が発達したことにより、生じた課題について主体的に考えようとしている。</p>	○	○	○	6
	第2章 メディアの特性とその表現 1節 文字・図解による表現 【知識及び技能】 文書や図解をソフトウェアを使用して作成する力を身につける 【思考力、判断力、表現力等】 用途や状況に合わせて適切な文書や図を判断し、作成する力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 用途や状況に合わせた適切な文書、図を考え、作成しようとする態度を養う	<ul style="list-style-type: none"> <li>わかりやすい文書の作成技法を身に付ける。</li> <li>文書の基本的な構成を理解する。</li> <li>ワープロソフトを利用して、ポスター、定型文書、報告書等をわかりやすく作成する。</li> <li>図解の意義を理解する。</li> <li>図解の種類と特性、活用場面を理解する。</li> <li>実際に図解を行ってみる。</li> </ul>	<p>【知識・技能】 ソフトウェアを活用し、文書や図を作成することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 用途や状況に合わせて適切な文書・図を作成することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ソフトウェアを活用して、文書や図を作成しようとしている。</p>	○	○	○	10
3節 静止画による表現 【知識及び技能】 デジタル画像の特性について理解を深めるようにする 【思考力、判断力、表現力等】 撮影した写真を用途や状況に応じて、加工・編集する力を身につける 【学びに向かう力、人間性等】 用途や状況に合わせた適切な静止画を考え、加工しようとする態度を養う	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル画像の基礎と特性を理解する(画素、解像度)。</li> <li>色の表現について理解する。</li> <li>画像編集ソフトを利用して画像データの修正、加工を行う。</li> <li>デジタル画像の特性について理解する。</li> <li>図形による表現を理解し、ピクトグラムの作成を行う。</li> <li>作品を発表し、相互に評価する。</li> </ul>	<p>【知識・技能】 デジタル画像の特性について理解している。 色の表現について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 撮影した写真を用途や状況に応じて、適切に加工・編集することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 画像編集ソフトを活用して、静止画の加工や編集をしようとしている。</p>	○	○	○	8	
	1学期末考査			○	○		1

